

「大阪市の廃止・解体に反対する」意見表明

各界、各分野の方々から賛同、メッセージ

大阪市をよくする会は、4月29日、各界、各分野で活躍する方々に、「大阪市の廃止・解体に反対する」との意見表明への賛同を呼びかけました。次の方々から賛同とメッセージを頂きましたので紹介します。（公表可の方、五十音順、敬称略、）

2015年5月 大阪市をよくする会

（5月13日現在）

嵐圭史（俳優）

大阪市民の皆さんの良識を信じます！（しかし、過去のいくつかの選挙を見ると、その思いに若干の不安もよぎるのですが・・・）アジテーターとしての橋下氏は確かにその弁説力を有しています。その「弁説仮面」を、是非徹底的にひっ剥がして下さい！

安齋育郎（安齋科学・平和事務所所長）

悔いを残すまい。

池内 了（名古屋大学名誉教授）

「都」構想は、ますます行政の集中化と経費節約の口実による文化・福祉の切り捨てになることは、今の大阪市の先取り行政を見ても、明らかなことで絶対反対です。

石部正志（関西文化財保存協議会代表・元宇都宮大学教授）

大阪市は私が物心ついて以来、ずっと久しく愛してやまないできた生まれ故郷です。私の思い以上に大事なのは、古代史、中世史、近世史の中心舞台になったことによって、蓄積されてきた大切な文化遺産の上に育まれてきた都市だということです。この重要な文化遺産の保護・継承・発展に尽力してきた多くの文化施設は大阪市民

だけでなく、全国民、世界の民衆にとつてもかけがえのない宝です。文化施設の保護、保全と一層の発展を期する上からも、大阪市は解体・廃止されてはなりません。

五十嵐隆明（社会福祉法人同和園理事長）

126年の歴史ある大阪市の火を消してはなりません。論語に「巧言令色鮮矣仁（こうげん れいしよく すくなしじん）」とあります。口先がうまく、たくみな言葉にまどわされてはなりません。

伊藤誠（経済学者）

井村身恒（オダサク倶楽部代表）

上から目線の「大阪都」なんて要らない。自由都市・堺はひとつ！大阪はひとつひとつや!!（大阪市は永遠に不滅です。）

上杉孝実（教育研究者）

戦時中に集権化のために解体された東京市のように、開発のため、自治力の強い大阪市をなくそうとすることは、住民自治にとつても大きな問題です。

宇都宮健児（弁護士・元日本弁護士連合会会長）

大阪市民の命と暮らしを守るためにも、大阪市の廃止・解体に反

対します。

大江洋一（弁護士）

政策内容にも問題点が多々ありますが、その進め方が余りに強引であるうえ、言うことがころころ変わって、反省がありません。「綿言汗の如し」と真逆の姿勢におそろしさを感じます。

大原穰子（方言指導）

大阪市は私の大切なふるさとです。

尾川 昌法（おかわ あきのり） 大阪民衆史研究会会長

大阪の文化とくらし、民主主義を破壊する「大阪都」構想に反対します。

角橋徹也（かくはし てつや）

関西大学客員研究員

都市の文化や歴史を理解しない身も心も粗野な「市長」の追放に声を上げよう

金森重裕（大阪文化団体連合会事務局参与）

「高津の宮の昔より 代々の榮を重ねきて 民のかまどに立つ煙 賑わいまさる大阪市」この大阪民歌を失くすことはなりません。「大阪市の市章は、みおつくし（濤標）だ。川底の深さを示し、川を運行する船の安全を守る標識だ。ものごとの表面の様子に惑わされず、ほんとうに大事なものを知り、それを守るといふ志を表す。濤標は『身を尽くす』という語にも通じる」とある(2015・4・28朝日新聞『折々のことば・鷺田清一』の要旨)。まさに後々の人たちに受け継がれていくべき心構えが謳われています。この大阪市、大阪市の精神を失くしてはなりません。

市は City、市民は Citizen といいます。外国の方に聞いてください。Prefecture(府)では通じないだろうし、人が住まいする都市とは認識しないのでしょうか。Osaka Cityを守りましょう。もうひとつ、都市の抱える問題はいろいろあるでしょう。目の前の住

民投票には「反対」と投票して、橋下と大阪維新の会が考える改革ではなく、大阪市民がこぞって大阪市政改革に臨むことの出發としましょう。

木津川 計（雑誌「上方芸能」発行人）

金石範（作家）

日下部吉彦（音楽評論家）

久世仁士（くせ ひとし） 文化財保存全国協議会常任委員）

橋下知事の時代に児童文学館は閉鎖され、弥生文化博物館も閉館、売却されようとなりました。大阪市には質の高い美術館、博物館が数多くあります。大阪府に統合されると、財政難や効率化の名のもとに閉鎖される施設が出て来ることが予想されます。文化施設は都市のパロメーターです。大阪の都市格を牽引してきた大阪市を廃止することには大反対です。

小林亜星（作詞・作曲・編曲家）

無知なくせに、うぬぼれの強い所は、Aさんにそっくり!! ここにも平成のファシストが居た。

小林 節（慶応義塾大学名誉教授・弁護士）

コストのわりに実益のないことが明白になっている。一度やっつけしまつたら取り返しがつかない。

小林康二（笑工房代表）

市民の良識で、橋下に止めの一撃を!

小森陽一（東京大学教授）

大阪市を破壊する「大阪都」構想は、地方自治と地方分権、何より住民自治に反します。

斎藤貴男（ジャーナリスト）

半可通の思いつきで、世の中を勝手に動かされてはたまりません。これは大阪だけの問題ではないのです。日本中をむしばむヤンキー

政治にいいかげんピリオドを打つためにも!!

佐野彰義 (最勝寺住職)

歴史ある大阪市をなくすことに反対します。若者が安心して暮らせる大阪にしましょう。

椎名慎太郎 (山梨学院大学名誉教授)

重森 暁 (大阪経済大学名誉教授)

大阪の地方自治の歴史において、とりかえしのつかない愚挙とならないことを祈っています。

杉原泰雄 (一橋大学名誉教授)

市町村最優先の事務配分・財源配分こそ、地方自治の要点です。

大阪市制を堅持し、住民自治を強化し、その文化の維持・発展に努めてください。

鈴木重治 (すぎき しげはる 元大阪府立大学非常勤講師)

自治体の合併・廃止で、文化行政・教育行政がよくなった例はありません。健全財政の為に国の税制を変えて、税の配分を地方有利にする必要があります。大阪市の存続に期待します。

高畑 勲 (アニメーション映画監督)

竹中恵美子 (大阪市立大学名誉教授)

大阪市の廃止・解体につながる「大阪都」構想に、憤りを覚え、強く反対致します。当然ながら「大阪都」構想に反対する意見表明に全面的に賛同です。

田中康子 (たなかやすことおはなし会主宰)

敬老パスの有料化反対

地下鉄の民営化反対

カジノ誘致絶対反対

田中義昭 (たなか よしあき)

元島根大学教授

何万年、何千年と民が苦勞して創り上げて来た、日本を代表する、

もつとも日本的な第一人者の都市の大阪市・近隣都市をゼヒ守って下さい。ゼニ・カネ主義のまちづくり絶対反対!

辻尾榮市 (つじお えいいち 大阪府立大学院)

都出比呂志 (ついで ひろし 大阪大学名誉教授)

鶴田廣巳 (関西大学教授)

「大阪都」が実現すれば、魔法のように大阪の経済力が高まり、活性化するというのでしょうか。それは全くの幻想か、単なるまやかしです。東京の特別区が一人前の自治体となることをめざして都から独立することを主張している時代に、権限と財源のある政令市である大阪市をつぶして、わざわざ権限も財源も弱い市の特別区に分割されれば、大阪市民に待っているのは行政サービス水準の低下と市政(区政)の混乱だけでしょう。

勅使河原 彰 (文化財保存全国協議会常任理事)

大阪の歴史と伝統を破壊する「大阪都構想」の住民投票を否決し、大阪を私物化しようとしている橋下徹大阪市長に鉄槌を加えましょう。

十菱駿武 (とひし しゅんぶ) 山梨学院大学客員教授・元文化財保存

全国協議会代表委員

大阪都構想では大阪城天守閣、大阪歴史博物館、大阪市文化財研究所の廃止・解体が図られ、絶対反対です。すでにピース大阪は被害の面のみの展示とし、加害の面を隠し、歴史を修正する歴史展示を行っています。大阪にルーツを持つ者として、大阪都構想を取り下げ、大阪市・大阪府を併行して存続させ、地方分権を生かしてください。

中川哲男 (元天王寺動物園園長)

元関市長、池上市長の偉業、大大阪を築いた実績を崩壊させることは許されない。歴史と伝統を尊重すべきである。(もちろん、文化、

教養施設を含め)

大阪都と特別区の二重行政は起こりうる。現実には東京がそうである。政令指定都市の横浜市(大阪市より人口が多い、貿易高も)や神戸市が都構想として問題提起しているか? 何故、大阪、橋下市政、松井府政が騒ぐのか?

永井憲一(法政大学名誉教授)

中谷哲造(日本キリスト教団牧師)

かつて小泉純一郎さんが総理であったとき、「障害者自立支援」という名の法のもと、著しく障害者支援の予算を削ったことを思い出す。低所得者の経済的締め付けや、高齢者、障害者、子どもへの福祉の見直し、府と市の二重行政の無駄と言いつつ、大学や医療施設の併合をはかるなど橋下市長の維新行政は小泉の新自由主義を補完する目的へと向かっているように見える。

わたしは今、旧約聖書の列王記上12章の記事を思い起こしている。ソロモン王の厳しさに耐え得ずエジプトに逃亡していたヤロブアムはソロモンに次ぐレハブアム王に面接する機会を得たので、ヤロブアムはこう言った。「あなたの父上(ソロモンのこと)が私たちに課した過酷な労働、重い軛(くびき)を軽くしてください。そうすれば私たちはあなたに仕えます。」レハブアム王は先代のソロモン王に仕えていた長老たちに相談すると、「あなたがきょう、この民の下僕となり、彼らに仕えてその求めに応じ、やさしい言葉をかけるなら、彼らはいつまでもあなたに仕えるはずですよ」と言った。しかし、レハブアム王はこの長老たちの勧めを捨て、自分に仕えている若者たちに相談して宣言するのである。「わたしの小指は父(ソロモン)の腰よりも太い。父がお前たちに課した思い軛よりもさらに重い軛を負わせる」と。

中野冬美(女性のための街かど相談室ここ・からサロン共同代表)

那須正幹(作家)

西谷 敏(大阪市立大学名誉教授)

野田正彰(精神病理学者)

橋下は多くの府民、市民が予測したとおり、大阪のモラルを解体し、まじめに働いてきた少なからぬ府・市職員を絶望的な思いにさせてきました。この責任を大阪市民は自覚しましょう。

芳賀 陽(日本考古学協会会員 文化財保存協議会全国委員)

長谷川俊夫(天理教教師)

浜田博生(はまだひろお奈良歴史遺産市民ネットワーク世話人代表)

大阪を守ろう 博物館を守ろう 文化財を守ろう 運動を広く強く ヨロシク

藤川矢之輔(劇団前進座俳優)

まずは文楽さんへの対応、文化に対する姿勢を正して頂きたいと思えます。大阪の歴史と伝統を守るために、皆様の活動を支持し、賛同の意を表します。

松島隆裕(文化財保存全国協議会常任委員)

なぜ大阪市を解体するのでしょうか。納得のいく説明をしてください。

松本 猛(まつもと たけし) 美術・絵本評論家

宮川 涉(みやかわ すすむ) 元文化財保存全国協議会代表委員)

わたしは敗戦直後から、戦災復興の名のもとで百舌鳥古墳群の多くの古墳が破壊されるのを目の当たりにしてきました。その背景には心の荒廃がありました。効率や経済効果、競争を社会発展の基礎だとするとき、かつて臨海工業地帯造成が多くの文化財を破壊し公害を激化したように、今また形を変えた「公害」という精神的な荒廃と言う形で出てきていると思えます。

思いやりやじっくりとした熟成で育つような大阪と文化を切り捨

てるような都構想の方向性名は反対です。

宮城泰年 (本山修験宗管長)

宮本憲一 (大阪市立大学名誉教授)

大阪市を廃止することは関西のみならず、日本の経済、社会、文化にとって大きな損失となり、とりかえしのつかない失敗となるでしょう。

村井敏邦 (元大阪学院大学教授)

権力集中が教育分野にまで拡大し、子どもをはじめ、すべての人の自由が失われていく大阪市を見たくありません。橋下改革を是非とも阻止しましょう。

茂木俊彦 (東京都立大学名誉教授)

森岡孝二 (関西大学名誉教授)

橋下維新の改革は大阪から元気を奪ってきました。弱った大阪を死に追いやるような乱暴な解体手術に反対します。

森田俊彦 (もりた としひこ 平和・戦跡ガイド)

文化財や文化施設を金もうけのための集客施設にする橋下市政のやり方に憤りを覚えます。市民のくらしや教育に真に活かせるよう大阪市を文化都市として発展させたいものです。

森村誠一 (著述業)

都は一國について一都で充分。現に京都は江戸に都を譲り東京都になった。大阪は熱い心を持った市民の町であり、市民文化の結晶であり、政(まつりごと)は、似合いません。大阪は生粋の街であり、人間の坩堝(るつぼ) 東京とはちがいます。大阪市は大阪だけのものではなく日本全国の街です。大阪市を勝手に廃止しないでください。

山崎龍明 (やまざき りゅうめい 武蔵野大学名誉教授)

私なりに種々考えましたが、京大の藤井先生のご高説がもつとも適格なものとして賛同します。同時に橋下氏の以前からの考えに不

信感をもっています。拜。

山家悠紀夫 (暮らしと経済研究室主宰)

大阪市を解体する「大阪都構想」は、住民自治を破壊するものです。断固阻止しましょう。

弓矢健児 (日本キリスト改革派千里山教会牧師)

吉村元雄 (元大阪市立美術館館長・関西学院大学名誉教授)

脇田 修 (元大阪歴史博物館館長・大阪大学名誉教授)

渡辺 武 (元大阪城天守閣館長)